

Google メッセージの使い方

Android スマホで使えるメッセージアプリには、[Google メッセージ]と[+メッセージ]という2つのアプリがありますはじめにこの2つのメッセージアプリの違いについて説明し、その後に本題の「Google メッセージの使い方」について、詳しく説明します。

1 RCS について

(1) RCS とは？

RCS とは「Rich Communication Services (リッチコミュニケーションサービス)」の略語で、その名のとおり従来の SMS から進化した高機能なメッセージングサービスです。電話番号ベースでの通信という点では SMS と共通していますが、データ通信を利用することで、様々なメリットが生まれます。

(2) RCS のメリット

① 電話番号だけで送れる

電話番号を使ってメッセージのやりとりをするので、ID やパスワードの登録などの手間がかかりません。

② 写真や動画、スタンプも送れる

テキストに加えて、写真や動画、絵文字、スタンプ、音声メッセージも送信できます。

③ 長文メッセージが送れる

SMS のような厳しい文字数制限（全角 70 文字など）がなく、文字数を気にせずチャット感覚で長文を送れます。

④ RCS 同士なら送信料が実質無料（データ通信を利用）

RCS を利用している相手であれば、データ通信を利用して送信するので、SMS のような「1 通〇〇円」というような送信料がかかりません。Wi-Fi 利用時や定額プラン内であれば、実質無料で利用ができます。

⑤ リアルタイムなコミュニケーション機能

既読・未読の確認や、相手がメッセージを入力中であることを示すタイピングインジケータ（「入力中…」の表示）が利用できます。

⑥ グループチャットに対応

友だちや家族など、複数人でグループを作って同時にやりとりできます。

⑦ スマホのメッセージアプリですぐに使える

Android では「Google メッセージ」アプリ、iOS では「メッセージ」アプリで利用できます。インストールされていない場合は、ダウンロードして利用することができます。

(3) 対象機種

- ① iPhone iOS
 - ・iOS 18 以上
 - ・「メッセージ」アプリで利用可能
- ② Android スマートフォン、Android タブレット
 - ・Android10 以上
 - ・「Google メッセージ」アプリで利用可能

(4) 各携帯電話会社の RCS 対応状況

- ・NTT ドコモ：対応完了（26 年 8 月 24 日から全面的に RCS 対応）
- ・au(KDD)：対応完了（以前から RCS 利用に対応済み）
- ・ソフトバンク：対応完了（2026 年春より RCS 展開を開始・対応済み）
- ・楽天モバイル：一部対応（基本的に「Rakuten Link 同士」でやり取りをするか、Android 端末で「Google メッセージ」を導入して利用できます。（iPhone は利用困難。）

(5) 「Google メッセージ」と「+メッセージ」の相違点と注意点

- ① これまでの「+メッセージ」は同じアプリ同士でしか RCS（データ通信による無料送受信）ができませんでしたが、「Google メッセージ」を使うことで、国内外の RCS 対応端末（Android や iOS 等）とキャリアの枠を超えて直接 RCS 通信（画像・動画送信や既読表示、データ通信による無料化）が可能になっています。
- ② RCS チャットが有効（送信ボタンに「RCS」または紙飛行機マーク＋矢印などが表示）になっている場合は、SMS の通話ではなくデータ通信（パケット）を使うため送信料は無料となります。
ただし、相手が RCS 非対応の場合や設定がオフになっている場合は従来の有料 SMS（従量課金）に自動で切り替わるため、送信時のステータス表示に注意しましょう。
- ③ 今のところ、RCS は同一のアプリ間でしか機能せず、別アプリ間（[Google メッセージ]と[+メッセージ]間、[iMessage]と[+メッセージ]間）では自動的に SNS へ切り替わるので、その場合は送信料がかかります。

送信元/送信先	+メッセージ	Google メッセージ	iOS メッセージ (iMessage)
+メッセージ	RCS（無料）	SMS（有料）	SMS（有料）
Google メッセージ	SMS（有料）	RCS（無料）	RCS（無料）（※キャリア・OS 対応時）
iOS メッセージ (iMessage)	SMS（有料）	RCS（無料）（※キャリア・OS 対応時）	iMessage（無料）

2 Android スマホで RCS を利用するための事前設定

(1) デフォルトの SMS アプリに設定

- ① [設定]アプリ→[アプリ]①→[標準のアプリ]②→[SMS アプリ]③
- ② [デフォルトの SMS アプリ]④を[メッセージ]⑤に設定します。



(2) RCS チャットをオンに設定

- ① ホーム画面上で[Google メッセージ]アプリを開き、アカウントアイコン①をタップします。
- ③ [メッセージの設定]②をタップします。
- ④ [RCS チャット]③をタップします。
- ⑤ [RCS チャットをオンにする]④をオンにします。

電話番号⑤が表示されています。

その下の3つの項目⑥もオンに設定しておきます。



3 テキストメッセージを送受信する

(1) チャットを開始する

- ① Google メッセージを開きます。
- ② [チャットを開始] ① をタップします。
- ③ [宛先] 欄 ② に相手の名前、電話番号、メールアドレスのいずれかを入力します。画面に表示されている連絡先一覧 ③ から選択することもできます。
※連絡先一覧では、相手が RCS 対応の時は、名前の右端に[RCS] ④ と表示されています。



(2) メッセージを送信する

- ① メッセージ ボックス ① をタップします。
※相手が RCS 対応の時は、入力欄に[RCS メッセージ] ④ と表示されます。
- ② メッセージ ② を入力します。
※相手が RCS 対応の時はメッセージの右側の送信アイコンが[飛行機] ⑤ ですが、相手が RCS 未対応の場合は、飛行機に[SMS]の文字が附属 ⑥ しています。
- ③ 入力が完了したら、送信アイコン (⑤ または ⑥) をタップします。



(3) メッセージを転送する

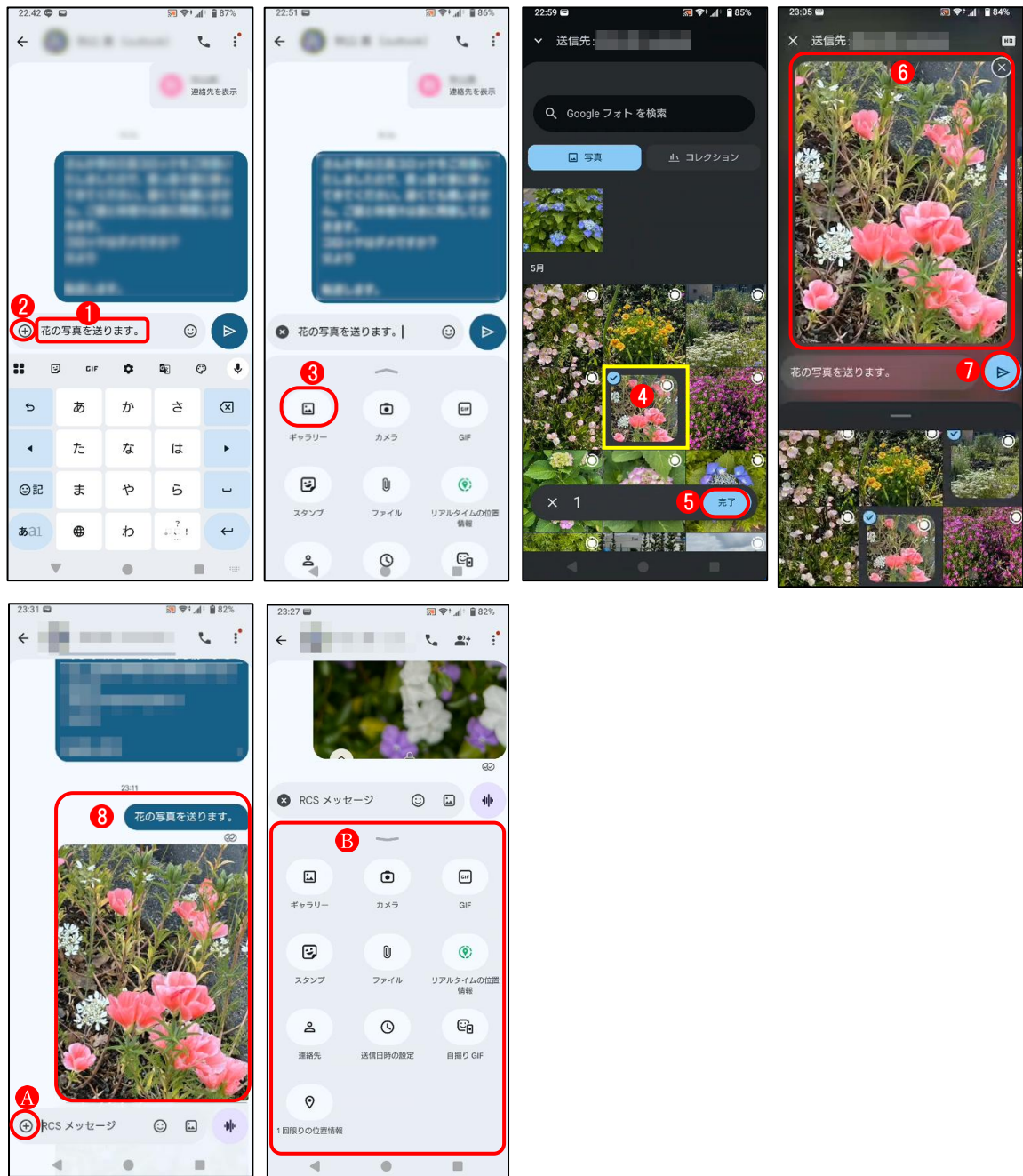
- ① チャットを開きます。
- ② メッセージ①を長押しします。
- ③ 画面右上のその他アイコン②をタップし、メニューから[転送]③をタップします。
- ④ 連絡先④を選択します。→[次へ]⑤をタップします。
- ⑤ 転送先へのメッセージ⑥を入力します。
- ⑥ 送信アイコン⑦をタップします。
- ⑦ 転送先にメッセージAが転送されました。

※[転送します]Bのテキストが見えるので、間違いなく転送されたことがわかります。



4 写真、動画、ファイル、GIFを送信する

- ① Google メッセージを開き、相手とのチャットを開始します。
- ② テキスト①を入力します。
- ③ 追加アイコン[+]②をタップします。
- ③ メニューから[ギャラリー]③をタップします。
- ④ Google フォトから写真④を選択し、[完了]ボタン⑤をタップします。
- ⑤ 写真⑥が挿入されたら、送信ボタン⑦をタップします。
- ⑥ 相手に写真入りのメッセージ⑧が送信されました。



※ここでは写真を添付して送信しましたが、追加アイコン **A** からは、様々な画像や情報 **B** を添付して送信することができます。

- ①ギャラリー
- ②カメラ
- ③GIF
- ④スタンプ
- ⑤ファイル
- ⑥リアルタイム位置情報
- ⑦連絡先 など

5 チャットをアーカイブする、削除する

(1) チャットをアーカイブする

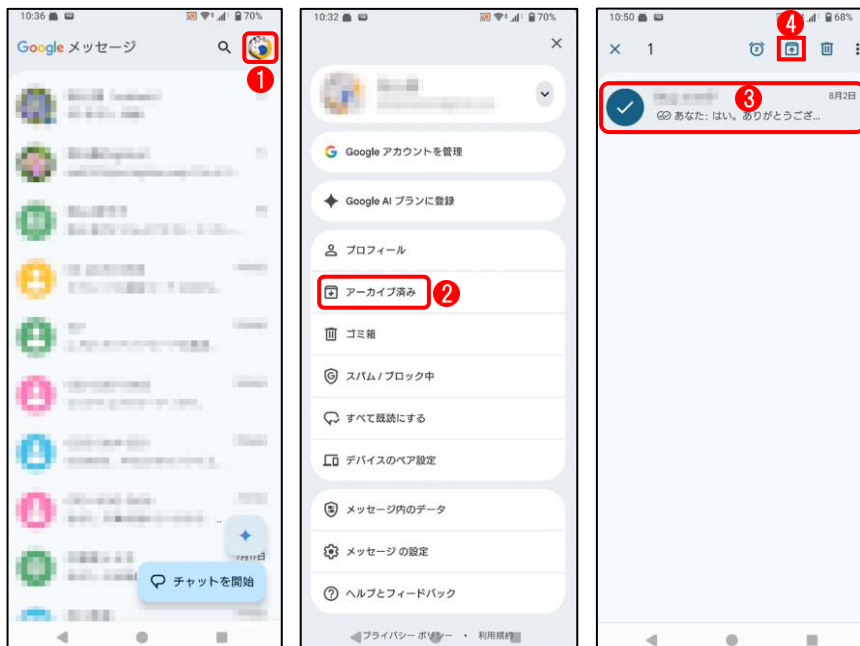
① チャットをアーカイブする

- Google メッセージを開きます。
- アーカイブするチャット①を長押しして選択します（複数選択可）。
- アーカイブアイコン②をタップします。
→アーカイブしたチャットはホーム画面には表示されなくなりますが、引き続き閲覧可能です。



② アーカイブしたチャットをホーム画面に戻す

- Google メッセージを開きます。
- アカウントアイコン①をタップします。
- メニューから[アーカイブ済み]②をタップします。
- ホーム画面に戻したいチャット③を長押しして選択します。
- アーカイブ解除アイコン④をタップします。
→アーカイブしたチャットがホーム画面に戻ります。

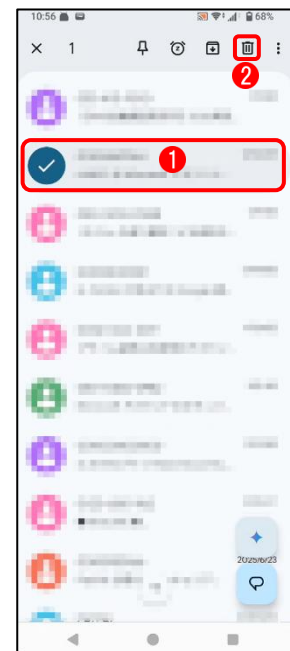


(2) チャットやメッセージ削除する

- ① Google メッセージを開きます。
- ② 削除するチャット①を長押しして選択します（複数選択可）。
- ③ 削除アイコン②をタップします。

→選択したチャットが削除され、ホーム画面から消えます。

※誤って削除したデータが失われないように、削除したメッセージは 30 日以内であれば「ゴミ箱」フォルダから復元できます。



6 メッセージをブロックする

- (1) 「ブロック」と「ブロックしてスパムとして報告」の相違点
メッセージをブロックする方法は2種類あります。それぞれのブロック機能を理解して使い分けましょう。

機能	ブロック	ブロックしてスパムとして報告
自分への効果	着信・SMS 通知を拒否	着信・SMS 通知を拒否
Google へのデータ送信	なし（自分の端末内のみで処理）	あり（相手の番号と最近のメッセージ内容が送信される）
主な用途	知人との連絡を絶ちたいとき、間違えて届いたメッセージ	迷惑メール、詐欺 SMS、フィッシング広告

(2) ブロックの方法

- ① Google メッセージを開きます。
- ② ブロックするチャット①を長押しして選択します（複数選択可）。
- ③ その他アイコン②をタップします。
- ④ メニューから「ブロック」③をタップします。
- ⑤ ブロックをするかどうかの確認メッセージが表示されます。

この画面では、デフォルトで「スパムとして報告」④にチェックが入っているため、「単にブロックするだけ（スパム報告はしない）」の場合は、このチェックを外してから「はい」ボタン⑤をタップします。
「ブロックと同時にスパムとしても報告する」場合は、チェックを付けたまま「はい」ボタン⑤をタップします。



(3) ブロックしたメッセージをホーム画面に戻す

- ① Google メッセージを開きます。
- ② アカウントアイコン①をタップします。
- ③ メニューから[スパム/ブロック中]②をタップします。
- ④ ホーム画面に戻したいメッセージ③を長押しして選択します。
- ⑤ ブロックを解除するかどうかの確認メッセージ④が表示されるので、[ブロック解除]⑤をタップします。

→ブロックしていたメッセージがホーム画面に戻ります。

